

第2回定例会  
12月議会

議案の賛否一覧

Table with columns for political parties (自民党 真誠会, 公明党, etc.) and members, and rows for various proposals (議案第99号, etc.) with decision results (採決結果).

※榎本議員は議長のため、採決には加わりません。

[表示例] ○…賛成 ×…反対 棄…棄権

- 議案第99号 明石市建設関係手数料徴収条例の一部を改正する条例制定のこと
第100号 明石市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定のこと
第101号 明石市下水道条例及び明石市水道条例の一部を改正する条例制定のこと
第102号 令和3年度明石市一般会計補正予算(第7号)
第103号 令和3年度明石市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
第104号 令和3年度明石市水道事業会計補正予算(第1号)
第105号 令和3年度明石市下水道事業会計補正予算(第1号)
第106号 市道路線認定のこと
第107号 明石市旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援に関する条例制定のこと
第108号 令和3年度明石市一般会計補正予算(第8号)
第109号 令和3年度明石市一般会計補正予算(第9号)
議員提出議案第4号 明石市工場立地法地域準則条例制定のこと
第5号 北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動を推進する決議のこと
請願受理第3号 明石市旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援に関する条例制定を求める請願
第4号 市立明石商業高等学校福祉科の早期実現を求める請願
第5号 SDGs未来都市明石市として工場緑地のあり方検討会の結論に基づく工場緑地面積率にかかる条例制定を求める請願

議案の概要については市議会のホームページもしくは市役所1階の行政情報センターで閲覧できます。

令和2年もいろいろなことがありましたが、12月議会が終わり、私が知る限り最多の24人の一般質問があり、たくさんの方の質問を書きました。今後は、一人でも多くの人に読んでいただくために、分かりやすい記事とさせていただきます。

令和4年第1回定例会 3月議会の予定
2月 21日(月)10:00 本会議(議案上程・提案説明)
3月 2日(水)10:00 本会議(質疑・一般質問)
3日(木) // 本会議(質疑・一般質問)
4日(金) // 本会議(質疑・一般質問)
7日(月) // 総務常任委員会
8日(火) // 生活文化常任委員会
9日(水) // 建設企業常任委員会
10日(木) // 文教厚生常任委員会
11日(金) // 第6次長期総合計画(あかしSDGs推進計画)特別委員会
14日(月)15:00 本会議(委員会審査報告・議案採決)
15日(火)10:00 総務常任委員会
16日(水) // 生活文化常任委員会
17日(木) // 建設企業常任委員会
18日(金) // 文教厚生常任委員会
25日(金) // 本会議(委員会審査報告・議案採決)
本会議は明石ケーブルテレビ717chで生中継されます。

決まりました
第2回定例会12月議会で可決した議案内容を一部紹介します。
◎こども夢応援プロジェクト事業費を増額
(議案第102号 令和3年度明石市一般会計補正予算(第7号))
経済的な理由により高等学校等への進学が難しい中学生を対象にした明石市給付型奨学金については、100人の定員に対して222人の申し込みがありました。
市民税非課税世帯や低所得の世帯だけでなく、コロナ禍の影響により収入が減少している世帯も支援の対象としたほか、ひとり親世帯や多子世帯、家庭内の看護・介護の状況といった家庭状況についても総合的に勘案した結果、定員を200人に増員することとしました。そのための財源として、3,210万円を追加計上しました。
決定した奨学生には、令和4年2月から3月頃にかけて30万円を上限に入学準備金を給付するほか、入学後も毎月1万円の支援金を3年間給付します。また、希望者には入試に向けた学習支援を行います。
◎日本人拉致問題の啓発活動を推進する決議
(議員提出議案第5号 北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動を推進する決議のこと)
北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動を推進する決議を全会一致で可決しました。
1970年代から1980年代を中心に多くの日本人が不自然な形で行方不明となった事件の多くは北朝鮮による拉致の疑いが濃厚であることが明らかになりました。政府は、北朝鮮に対して拉致問題を提起し続け、2002年9月の第1回日朝首脳会談で北朝鮮は、初めて拉致を認め、謝罪し、再発防止を約束し、同年10月に5人の拉致被害者が24年ぶりに帰国しました。しかし、残りの安否不明の人々については、いまだに北朝鮮当局から納得のいく説明がなされていません。
拉致問題は、国の責任において解決すべき喫緊の重要課題です。そのため本市議会は、地方公共団体として一日も早い拉致被害者全員の救出に向けて、積極的な啓発活動を通じて、拉致問題に対する理解を深めるための取り組みを進めていきます。特に拉致問題を知らない小中高生が増えていることから、アニメ「めぐるみ」の上映や北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールの参加等を通じて、若者への啓発を推進していきます。